Panasonic

これからの清掃は、人の手からロボットへ

業務用 ロボット掃除機

RULO Pro
ルーロ

2022年3月より
新型 RULO Pro
販売開始

MC-GRS2M

新モデルの特徴

1 機能向上 片側約 25mの長距離レーザーを搭載
従来比約７倍の片側約 25m の大空間を検知し、宴会場やエントランスなどの清掃にも対応

2 新機能 自動走行地図作成機能を搭載
初期導入時やレイアウト変更時の走行地図作成が簡単に

3 新機能 タイマースタート機能を搭載
毎日同時刻での清掃も可能で業務をシンプルに

4 従来機能 ４種のセンサーと独自の SLAM 技術を採用
壁際まで接近し、効率的な床面清掃を実現

Green AC Flex
グリーンAC Flex

クリーン・快適な環境づくりに「ミスト除菌※」
テーブルや椅子、備品など人が触る接触部分を「除菌」
※ 30㎥の密閉空間内での試験による21分後の効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。ご提供・利用方法には条件があります。

現行機 MC-GRS1M も
バージョンアップで対応
※別途、バージョンアップ費用がかかります。

RULOpro は こちらから ▼
グリーンAC は こちらから ▼

問い合わせ先 パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社
システムソリューションズビジネスユニット　事業推進部
〒140-0002 東京都品川区東品川 1-39-9 カナルサイドビル 9階

PCMC RULOpro https://www.panasonic.com/jp/company/pcmc/new-business/solution/rulo-pro_lp.html
PCMC グリーンAC https://www.panasonic.com/jp/company/pcmc/new-business/solution/green-ac-f_lp.html

企業プロフィール

パナソニックブランド家電商品の卸販売など
パナソニックコンシューマーマーケティング
人とロボットが協働する清掃現場に

パナソニックコンシューマーマーケティング（大阪市中央区、以下PCMC）はパナソニック製品の販売、施工、メンテナンスから、生活や産業を支えるソリューションの提供を行う。

労働人口の減少に伴い、宿泊施設においても業務の生産性向上が求められているが、ロビーをはじめとした共用部の清掃を行う業務用ロボット掃除機「RULO Pro（ルーロプロ）」の新モデルMC－GRS2M（22年3月発売予定）を用いた清掃業務の効率化を提唱している。

新モデルは遠隔状態把握や交換可能な蓄電池、紙パック式のゴミ捨てなど現行機種の特長を生かしつつ、使い勝手を追求。これまでに比べ約7倍の片側約25㍍の範囲を検知可能な長距離レーザーセンサーを実装。宴会場やエントランスホールなど大空間の清掃にも対応した。

ラッピングを施したRULO Proの新モデル

赤外線センサーなど合計4種のセンサーを内蔵。周囲の壁と本体との距離をリアルタイムで計測することで、壁際まで接近して、抗菌加工を施した回転ブラシでゴミを集じん。より効率的な床面清掃を実現した。

松本氏

また、掃除機本体を清掃エリアで稼働させることで、自動的に走行地図を作成し、初期導入時や清掃箇所のレイアウト変更などへの対応が容易になった。

さらに、ユーザーから要望の多かったタイマースタート機能を搭載。毎日同時刻での清掃が可能で、作業負担を軽減する。

幅590×奥行き650×高さ730㍉で、電池込みの本体重量は27㌔と軽量。

PCMCでは、夜間・早朝にも対応した24時間専用サポートセンターを設置し、清掃員の業務を支える。

「人とロボットが協働する新しい清掃現場の実現を目指す」と事業推進部部長の松本亮祐氏は語る。

【本社】〒540-6224　大阪府大阪市中央区城見2の1の61　ＯＢＰパナソニックタワー
【創立】2006年4月1日
【事業内容】パナソニックブランド家電商品の卸販売や、修理・サービス業務、太陽光・リフォーム・システムに関するエンジニアリング事業など
【資本金】1億円　【従業員数】6524人（2021年3月現在）

新築、改装の工事請負や調度品、消耗品の販売など
JTB商事
宿泊施設に寄り添ったソリューション提案

JTBグループの商事会社として、旅館・ホテルなどに向け各種の商品を販売するJTB商事。加藤雄次社長に今後の方針などを聞いた。

――主たるターゲットである旅館・ホテルの現状をどう捉えている。

加藤　コロナ感染が落ち着いてきたことと関連しているが、徐々に景気が上向いているのは間違いない。ただ、今は県民割の効果もあって近場の旅行が中心であり、遠方への旅行、あるいはビジネス関係はまだ少ない。訪日インバウンドに至ってはまったく戻っていない。今後、再開される「Go To トラベル事業」など政府の新しい支援策や世の中の旅行機運の高まりに期待している。

――旅館・ホテル市場に向けてどういった提案をしているのか。

加藤　宿泊施設の魅力づくりや経営の課題解決に関して、われわれの商品やサービスでいかにお手伝いができるかということを考えている。今の一番の課題は何をおいても「コロナ対策」。旅館・ホテルでは感染防止、あるいは抗菌に関する商品を求めているので、われわれとしても提案に力を入れている。具体的には空気清浄機やCO₂測定器などいろいろあるが、特に最近は寝具など実際に触れるものをどう新しい抗菌素材のものにするかということにも興味を持たれており、そういった商材の提案を強化している。

加藤社長

続いて「SDGs」。特に4月から施行される脱プラスチックの新法については、もう目の前に迫っており、業界全体が注目している。対策が義務付けられる「使用量年間5㌧以上の事業者」に該当していなくても、世の中の流れから考えないといけないということで皆さん動いているようだ。われわれは、無駄なごみを出さない「リデュース」、繰り返し使う「リユース」、再生利用の「リサイクル」という「三つのR」の観点からどういった商品開発や提案ができるかということを検討しているところだ。

テレビやスマホを通じて館内情報などをインフォメーションするといったデジタル活用も欠かせない。われわれも省人化、省力化、効率化や感染防止に関していろいろとデジタルの力を使った商品を提案していく。

まだ戻ってきていないが、インバウンドを意識した商品についても今のうちから対応しておくことが必要なので、提案は続けている。

――今、力を入れていや担当者を好きになってる商品、また、新たに打ち出した新商品は。

加藤　環境に配慮した商品の開発と販売については継続的に取り組みを行っている。環境に配慮したアメニティシリーズ「mugicara（むぎから）」は、おかげさまでお声掛けをいただく件数が増えてきている。ロボット家電やたためるベッドといった「省人化対策」など、さらに宿泊施設に寄り添ったソリューション商品の開発と提供を行っていく。

――2022年の販売方針は。

加藤　JTBグループでは「お客さまの実感価値の向上」をテーマに掲げているが、私はJTB商事の社員に対して「これまで通り『お客さまに寄り添った営業』を続けていこう」と言っている。各旅館・ホテルで客層や地域性、あるいは、抱えている課題などが違うため、求めるニーズもそれぞれ違う。われわれは、そのニーズにしっかりと合わせていく。そのために大切なのは「柔軟性」と「デジタル化」だ。JTB商事は、さまざまなニーズに対応できるだけの多岐にわたる商品やサービス、ソリューションをそろえているのが強みだ。営業所は北海道から沖縄まで全国に37カ所ある。ワンストップでお客さまに寄り添った提案ができる。

JTB商事という会社や担当者を好きになっていただき、旅館・ホテルの皆さまから「こんな時はどうしたらいいのだろうか」とご相談いただけるような関係づくりを少しでも作っていきたい。

――旅館・ホテルに向け新年のメッセージを。

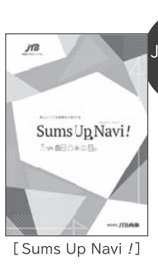
加藤　旅館・ホテルはツーリズム産業の一翼を担う重要な存在であり、日本の財産だ。私たちは、その魅力をもう一度、日本国民、あるいは全世界の人々に発信するお手伝いをしていきたい。私は、旅行に関する潮目が変わってきていると見ている。人流を作り出せる観光業界がいかに社会生活に必要かということを示す絶好の機会なので、ぜひ一緒に頑張りましょう。

アメニティシリーズmugikara

【本社】東京都中野区本町２の46の１　中野坂上サンブライトツイン13階
【創立】1971年2月
【事業内容】新築、改装の工事請負、コンサルティングから調度品、消耗品の提案、カタログギフト、販促品の販売など
【資本金】1億円　【従業員数】535人（2021年4月現在）

JTB商事　取扱い商品のご案内

WEBで詳しく
こちらのQRコードまたはURLよりアクセスいただくと各種デジタルカタログがご覧いただけます。
https://worldsp.meclib.jp/library/release/book/list


JTB商事をご紹介
［Sums Up Navi !］

空間づくりのサポートカタログ
One-stop Express
JTB商事は全国展開の情報ネットワークで地域に密着した空間づくりを総合的にサポートいたします。オリジナルのインバスアメニティや宿泊施設様向け客室備品を掲載。多様化する宿泊ニーズへの対応をサポートいたします。

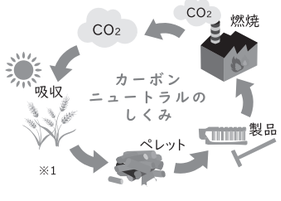
NEW
［装備品版］［消耗品（アメニティ）版］

JTB 感動のそばに、いつも。

mugicara（むぎから）
CO2排出削減・プラスチック使用量削減アメニティ

エコアメニティを導入してみませんか？

使い捨てアメニティ廃棄問題やCO2の削減、
脱プラへの取り組みの一歩としてエコアメニティをご提案致します。



※1
植物資源を原料としたバイオマスは、成長段階で光合成によって二酸化炭素を吸収しています。そのため、バイオマスプラスチックを焼却した際に出る二酸化炭素は、実質的にプラスマイナスゼロになるという考え方を『カーボンニュートラル』といいます。

WEBで詳しく
https://kenso.jtbtrading.co.jp/magazine/
mugicaraについて動画で詳しくご覧いただけます。
こちらのQRコードまたはURLよりアクセスください。

むぎ
このアメニティ※2は、ムギの廃棄部分からなる再生可能な生物資源を含有することにより、29%のプラスチック削減を実現しています。また、日本製のクラフト調の紙を採用することにより、包装については 89%ものプラスチック削減に成功しています。
私たちはSDGsの目標達成のため、環境にやさしい商品造成に取り組みます。
※2 ムギ由来の植物資源を含有しているのは、ハブラシ・ヘアブラシ・レザー・コームとなります。その他のアメニティは別の環境配慮型商品となります。

むぎからは、SDGs４項目の目標達成に向け取り組んでいる商品です。
12 つくる責任 つかう責任　13 気候変動に具体的な対策を　14 海の豊かさを守ろう　15 陸の豊かさも守ろう

Mugicara amenities are basicly made from eco-friendly natural wheat straw and polypropylene. Packaging materials are made from paper and a very smallamount of polyethylene.

資料請求・お問い合わせは JTB商事 営業推進本部 販売部 まで Tel.03-6832-4740　E-mail:sales@jtbtrading.jp　HP: https://www.jtbtrading.co.jp/